

16期 第5号 通巻178号 11月10日発行

16期ブリテン第5号(2025年11月号)

京都ZEROワイスメンズクラブ

CLUB CHARTERED 2010



京都ZEROワイズメンズクラブ16期 会長主題



超 感動

『 感動をともにする仲間に 』

Table of Contents

- 卷頭記事『副会長として』
」石倉直人
- 10/9 『第一例会』
」熊本祐滉
- 10/12 『日向大神宮ワーク』
」秋久成入
- 10/17 『ゴルフ』
」地野孝
- 10/18 『森のハロウィン』
」イモトヴレンダ
- 10/25 『サンガ観戦例会』
」加藤会長・室岡大介・安藤匠(ゲスト)
- 10/28 『EMCコーチングセミナー』
」半谷喜久

共に 超感動を!

『副会長として』 16期副会長 石倉直人

今期副会長をさせていただいてあります、
石倉直人と申します。

よろしくお願ひいたします。

16期がスタートして早や4か月が過ぎましたが、いまだに慣れず、副会長の活動を一回一回先輩方に聞きながらこなしている日々です！

不器用な私としてできることは、今期加藤会長の
主題である「“超感動”～感動をともにする
仲間に～」を少しでもサポートできればと
思っております。

とは言ながらも…ZEROクラブには既に損得勘定なく笑い合える心豊かなメンバーが
たくさんいますし、感動を共にできる仲間
が本当にたくさんいますので…統制を取る
役割というより、こうしたつながりを大事
にし、そしてより円滑にすることが任務か
と考えております。

また、ワイスメンズクラブ及びゼロクラブ
のことを諸先輩方よりうかがったり、感じ
たことを入会年数の浅いメンバーに伝える
ことで、自分自身もワイス知識を深めて参
れたらと思っております。

至らない点ばかりの副会長ではあります
が、自分自身を大事にし、クラブの皆様と
“超感動”できるように頑張って参る所存
です。

今後ともよろしくお願ひいたします。

共に“超感動”を分かち合いましょう！



『10/9 第一例会』

Yサ事業委員会 熊本祐滉

2025年10月9日(木)ホテル日航プリンセス京都にて
10月の第1例会が行われました。

メインプログラムはゲストスピーチ例会で公益財団
法人、鷹山保存会、理事長の山田純司さんに来て
いただき、「祇園祭の密かな愉しみ方」についてお話
いただきました。

鷹山は2025年復興4年目を迎えた山になります。

祇園祭に深く携わっている方しか知らない裏話をお
話しいただきました。

お祭りの安全祈願時の並び順や神様に背を向けない
など興味深く聞かせていただきました。

私自身、鷹山には毎年寄付をしており、ご縁がある
ゲストとお会いでき良い機会になりました。

ありがとうございました。





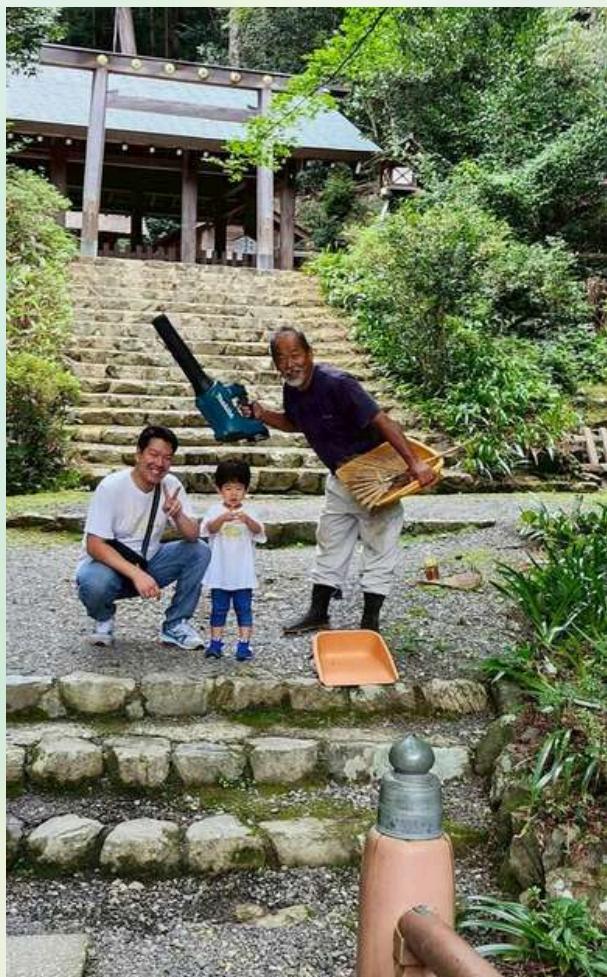
『日向大神宮環境整備ワーク』 CS事業委員会 副委員長 秋久 成人

10月12日(日)日向大神宮神嘗祭にむけての清掃作業を実施しました。

参加者は加藤会長&佐古田Yのコメットを含め11名。

夏場に生えた草の除去作業等参道中心に広域に作業が進められました。

今夏の暑さは若干和らいでいたものの、高齢者中心の作業だったので、若いメンバーの参加も求めたいなって思いました(笑)



2025-2026 京都部 リトセンチャリティーゴルフ大会 ブリテン委員会 地野孝

10月17日（金）ウエストクラブさん主催のリトセンチャリティーコンペがローズゴルフ倶楽部で開催されました、12組45人の参加でした。

前日迄は雨でしたが当日は良いお天気に恵まれ楽しいラウンドでした。

ZEROクラブからは宮越さんゲストの吉岡さんと三人で楽しいラウンドが出来ました。

宮越さんのドライバーショットは凄く飛び、二人は必死で走り続けてちょっと疲れました。

でも凄く楽しく廻る事が出来ました。

プレー終了後クラブハウスで表彰式が行われ我がチームからは宮越さんが14位 吉岡さんが20位に入賞獲得されました。



「森のハロウィン」 ファンド事業委員長 井上和久

11/18土曜日、森のハロウィンに家族4人で参加しました。

私と小学2年の息子は午前中から少し準備のお手伝いをさせてもらいました。

妻と娘は午後から参加。

天気はどんよりとした曇り空で、いつ雨が降り出してもおかしくない様子でしたが、子どもたち向けに企画していただき居た紙飛行機やトーチ作りでは、パレス川上さん、YMCA遠藤さん、リーダーたちが親身に教えて下さり、子どもたちは楽しそうに遊んでいました。

トップスクラブのメンバーのお子さんに息子と同学年のお子さんがおられて、終始楽しそうに遊んでいました。



食事は、食堂棟でいただきました。

カレーライス、唐揚げ、サラダ、スープ、パスタと子どもたちの大好物ばかりで、しかもパスタはナポリタン、ミートソース、カルボナーラと3種もありました。

大人用にと作っていただいたカレーライスも美味しかったです。

すっかり夜になり、グローバルキャビンでトーチの灯りやポン菓子を楽しみ、いろいろイベントはクライマックス。

子どもが1人で下のバーベキュープレイスからZEROキャビンへ宝探しに行きました。

怖がることなく、一気に駆け上っていく姿に成長を感じました。

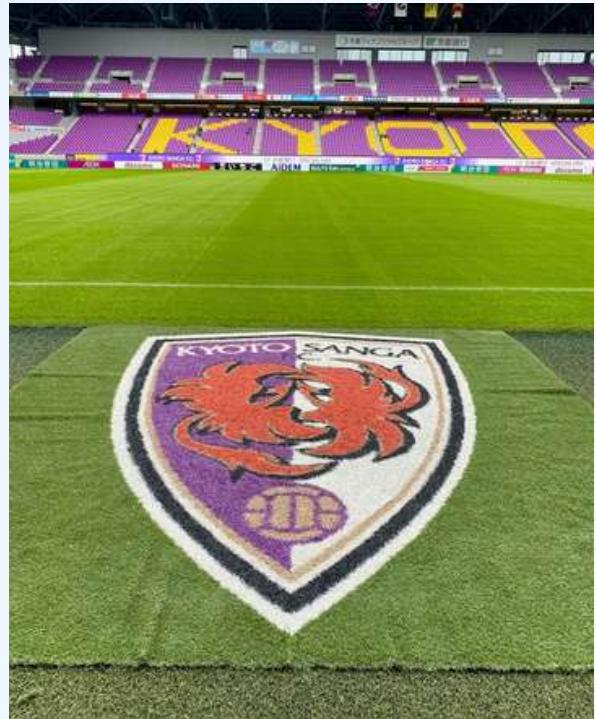
運良く、宝探しが終わった後に雨が降り出しましたが、非常に楽しい1日を過ごすことができました。

当日設営いただいた佐古田さん、リトセン委員会の皆様、トップスクラブさん、リーダー、ボランティアの方々、遠藤さん、みなさんに感謝です！

サンガスタジアム 見学ツアー&試合観戦例会 会長 加藤学

サンガスタジアム見学&鹿島戦観戦例会は、非常に楽しかったです。
わたし自身、サッカーと言う競技を愛していると言うのは言うまでもなく皆様がご存知かと思います。
ですが、サッカーをただ観るのではなくZEROクラブで体験したかったんですよね。
京都サンガF.C.は地元にある身近なプロスポーツチームです。
スタジアムは龜岡市に平成31年に完成した21,600人を収容出来る、とても素晴らしい臨場感溢れるサッカー専用スタジアムであります。
そして、京都サンガF.C.はJ1と言う日本プロサッカーの頂点のカテゴリーで今年は素晴らしい試合を披露してくれており、過去最高位をキープしております。

皆様に1番感じて頂きたかったのは、サッカーで面白いスポーツでしょって事ではなくて、"人のパワー"なんですね。



TVではわからない。サポーターの声援。
サッカーは勿論フィジカルのぶつかり合い、球際の強さ、テクニック、スペースのあけ方、そして時に賢さや、せこい場面、こう言った人間の良し悪しが詰まった勝負です。
それが目の前で繰り広げられ、選手は、その1勝1勝の積み重ねをする為に、毎日トレーニングを積み、試合でドロドロになって魂入れて頑張ってくれます。
また、それを応援するサポーターの声、アウェイの応援も含めて凄い息のあった歓声と歌を聴くのではなく、身体で魂で感じる事が出来ます。

ひとつ思うんです。
サポーターの方って仕事あって土日のどちらかは試合に来て応援して、飛んで声出して、選手と共に闘う。

ひとりひとり、皆さん、恐らく仕事、家族がおられ、日常は僕らと何も変わらない生活がある皆様が、自分の意志でスタジアムに来て、あの素晴らしい完成やチャントを感じさせてくれるって"想い"があってなんだろうなと感じるんです。

"想い"が感動を生む
そんな、とても"人のパワー"を感じる場所。
僕にとってはある意味
パワースポットかも知れません(笑) その場所へ、サンガのご協力もあってZEROクラブとゲスト様を交えて例会が出来た事は、僕個人的にも、思い出に残るだろうし、超感動しています。
僕もあんなパワーのあるZEROクラブ人の想いがパワーとなる「超感動出来るクラブ」と言って頂けるように少しでもなれば嬉しいです。
ご参加頂いた皆様ありがとうございました♪

サンガスタジアム 見学ツアー&試合観戦例会 外部書記 室岡 大介

2025年10月25日の第二例会へ参加しました。

スタジアム見学ではコートの真横まで入ることができ、コートから観客席を見渡せて選手になった様な気持ちになれました。

またVIPルームや記者会見場、記者エリアなどを見学ができ貴重な体験をさせていただきました。

その後、アザレアさんでランチを食べ、その際、参加者全員へサンガ選手の背番号入りのサインが配されました。

会場入り後はサンガ、鹿島両チームのアップを見学しました。お互いのチームの応援団の応援が凄く試合までの高揚感が高まりました。

試合が始まりサンガが先制点を取った際は参加者全員立ち上がりハイタッチで喜びを分かち合っていました。

サンガ1-0で勝ち進んでいましたが後半のアディショナルタイムの残り1分くらいのところで鹿島が同点ゴールを取りました。

サンガの勝つ姿を見たかったですが勝負は最後まで分からないといった醍醐味を味わう事ができました。

またこの様な例会があれば参加したいです。

ゲスト6名、他クラブ1名を含む総勢62名の参加者は有意義な時間になったと思います。

加藤会長、ドライバー委員会の皆様、企画、運営ありがとうございました。





サンガスタジアム 見学ツアー&試合観戦例会 株式会社Y&S 安藤匠

2025.10.25に京都サンガvs鹿島アントラーズの観戦に参加させていただきました。

初めてワイズメンズさんのイベントに参加させていただきました！

試合とサンガスタジアムの中を見せていただけたと聞き参加したんですがもう圧巻でした。

- ・すごく綺麗なスタジアム
- ・ピッチの芝。ピッチから見る客席の迫力
- ・サポーターの熱気
- ・選手の真剣さ

どれをとっても感動的でした。

私は子供と参加させていただきましたがワイズメンズの方々のほとんどが初めてお会いする方々だったにも関わらず気さくに話かけていただきとても過ごしやすい暖かい時間にしていただきました。

試合の結果は残念でしたが、おしいプレーの時は「うわー、今のおしかったなあ」ってみんなで悔しがったり、シュートが決まった時はみんなでハイタッチして喜んだり。笑

子供もはしゃいでたり。その面倒をメンバーが見てくれたり。

すごく貴重な体験をさせていただき感謝しております。

また皆さんとお会いしたいです。
ありがとうございました。



コーチングセミナーに参加して EMC事業委員会 半谷喜久

先日、10月28日に高坂仁美先生を講師にお迎えしまして、コーチングセミナーを開催しました。

受講前は『コーチング』との名前から人に指導をするようなイメージを抱いておりました。

実際に受講して驚いたのは先ず『自分の強みを知ること』からスタートする事でした。

グループディスカッション1部では各々が自らの特性や個性をそれぞれ話し合うと共にその各人が持っている『特性、個性』は強みであることとの認識となりました。

それを活かした上で2部では『コーチング』に進み、グループディスカッションでは様々な意見のやり取りがあり盛り上りました。

高坂先生からのご指導で『コーチング』は一方的に知識や技術を教えるのではなく対話を通して相手が持っている個性や強みを引き出してサポートする事との内容が良く分かりました。

実際に仕事でも社会でも様々な人と関わりながら作り上げてゆくものであり、接する人と各々の個性や強みを尊重し、高めあっていけばより良いものが実現出来るのではないかとこのコーチングセミナーを受講して感じました。

これからもこのような学びの場を皆さまと共有出来ればと考えております。



The Best Shot Award

Top 3 Photography Awards
Select and Comment Shota Ibusuki



9月のベストショット賞は、西村ワイズでした♪
いつもたくさん写真をアップして頂きありがとうございます！
優勝者の西村ワイズには 3,000円分の賞品を進呈いたします。

毎月ベストショット賞の賞品が出ています！全員にチャンスあり♪
皆様のお写真どんどんグループラインにアップのほどよろしくお願いいたします！

HAPPY BIRTHDAY

11/1 井上 和久 11/2 堂脇 武 11/7 井上 晴雄
11/10 室岡 大介 11/11 保匠 11/16 五十嵐 新太 11/26 大西 宏明

HAPPY ANNIVERSARY

11/2 山田維久仁 & 由衣 11/3 赤間亮介 & 詩織
11/22 指宿正太 & 美貴 11/24 中村 隆仁 & 真由美

Y M C A N E W S

ホームページ上で募金ができるようになりました

京都YMCAsのホームページ上からクレジットカードでも
寄付・募金ができるようになりました。

詳細は→https://kyotoymca.or.jp/?page_id=2026

または下記二次元コードをご覗ください。

引き続きのご支援をお願い申しあげます。

●ホームページ上でお手続きいただける寄付・募金は以下です。

- A. リトリートセンター開設60周年記念募金
- B. 公益活動寄付金
- C. 国際協力募金
- D. 奉仕活動基金
- E. 子ども支援基金



みつかる。つながる。よくなっていく。

今月の聖句

11月号 旧約聖書 詩編97編 10~11節

主を愛する人は悪を憎む。主の慈しみに生きる人の魂を主は守り

神に逆らう者の手から助け出してくださる。

神に従う人のためには光を心のまっすぐな人のためには喜びを種まいてくださる。

京都ZEROワイズメンズクラブ
会長主題

『超感動』

～感動をともにする仲間に～

国際会長

エドワード・オン

主題 “Faith, Love, Action”

スローガン “Together Stronger”

アジア太平洋地域会長

田上 正

主題 “Act now with faith and love”

スローガン “Contribute to local society,

together with YMCA and Youth”

西日本区理事

中井 信一

主題 「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!」

スローガン 「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」

京都部部長 隠塚 功

主題 次のステージを求めて！

「Looking for the next stage！」

強調月間

BF

BF(ビルディングフェローシップ)の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、この基金の充実と活用に貢献しましょう。
古切手を集め、メンバー同士で交流を深めましょう。 中西賢一 国際・交流事業主任（熊本にし）

10
月

二コニコ
第一例会20,000円
第二例会 0円
合計 20,000円
累計 34,000円

ファンド益
10月 87,950円
累計462,573円

第一例会M17名 G3名
第二例会M17名 G45名
月間出席者 25/37
月間出席率 75.7%

締結クラブ

IBC Kaimuki Y Service Club(ハワイ)
DBC 阿蘇ワイズメンズクラブ(熊本)
長浜ワイズメンズクラブ(滋賀)

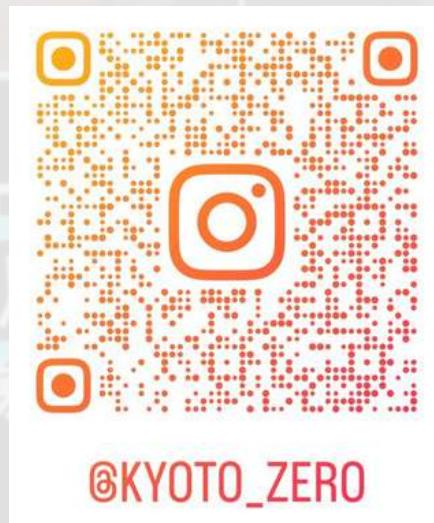


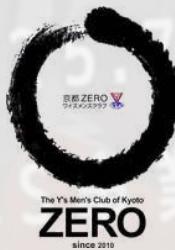
Instagram隨時更新中

例会やワーク、各委員会の様子など
投稿しております。

『フォロー&いいね』
よろしくおねがいいたします。

FOLLOW ME





京都ZEROワイズメンズクラブ Instagram運用状況

11月の投稿

リール動画と投稿の閲覧数

2,455

フォロワー以外の閲覧数

57%

フォロワー

100

閲覧数上昇中

メンバーシップ

YMC Aはプログラムに参加する子どもたちや大人の方、ボランティアとして活動に携わる方々によって支えられている団体です。一人一人に合ったかたちで京都YMC Aとの関わり方を選び、活動を通して人とつながり、子どもも大人も成長していく環境があります。



ボランティア

YMC Aは、170年あまり前にボランティア精神に基づき組織され、世界に広がりました。地域のニーズに応えて活動を続けてきた「ポジティブネット」のある豊かな社会をつくるボランティア団体です。みんなが共に生きていくために、自分ができることは何かを考える。様々な人たちがYMC Aを通してボランティア活動を行っています。



こどもプログラム

YMC Aは活動を通して、人格の向上に大切な価値として「CARING（思いやり）」、「HONESTY（誠実さ）」、「RESPONSIBILITY（責任感）」、「RESPECT（尊敬心）」を子どもたちへ伝え、子どもたち一人一人が自分を大切にするとともに、自分以外の人も大切にできる生き方を身に付けてほしいと願っています。



大人プログラム

したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。アクティブな運動プログラムから英会話など知性を養うプログラム、ボランティア活動など一人一人のしたい何かが見つかり、活動を通して誰かとつながる。YMC Aは、生涯にわたり自分を高めていけるかけがえのない場所です。



京都YMC A国際福祉専門学校 介護福祉学科

今の自分となりたい自分。その間を結ぶのが京都YMC Aでの2年間。介護福祉士として社会で自信を持って仕事を行うために、京都YMC Aでは、知識と技術の習得を、演習と実習によって深めていけるよう努めています。あなたの福祉業界での夢の実現につながる第一歩です。





京都Y M C A国際福祉専門学校 日本語科

ことばは、人と人が分かりあえる素晴らしい道具。新しい文化を知ること、わかりあうこと は、豊かな未来へつながっていきます。みなさん、もう一つのことばを学んでみませんか。日本語を学ぶことを通して、世界を広げ、平和の芽を育てたい。それがY M C Aの願いです

リトリートセンター

琵琶湖へ注ぐ川はたくさんありますが、流れ出る川はたった1本。その瀬田川が、宇治川に名前を変えるあたりから支流の笠取川をしばらく山手へ上がると、やがて40年育ったメタセコイアの森陰に、茶色のロッジが見えてきます。そこが京都Y M C Aリトリートセンターです。



舞鶴Y M C A国際福祉専門学校

「海の京都・舞鶴」で人を笑顔にする魔法を学ぶ。いつも正直で、人にやさしく、責任感を持って、信頼される職業人となれるよう、その人格形成を重視した自立を促す参加型授業を提供します。Y M C Aの持つネットワークや社会貢献の強みを生かし、介護福祉と国際観光、2つの分野で自信をもって活躍する人材を育てます。



英会話

Y M C Aは、語学教育を通して、地球市民を育てます。

The Y M C A pledges to foster global citizenship through language education.



成人スイミング

25m×5コースの温水プールでは、スイミングやウォーキングを楽しんでいただけます。水中運動は、膝や腰など、必要以上の負担を軽減し、筋力を高めていくことが可能です。また、全身運動であることから、日常生活を生き生きと過ごす体力を向上させることができます。





The Y's Men's Club of Kyoto

ZERO
since 2010